

ソフトテニスの普及について

川口市立川口総合高等学校

教諭 佐々木 周平

1. ソフトテニスの国内の現状

ソフトテニスとは、子供から高齢者まで幅広い世代で愛好される生涯スポーツであり、競技人口も多い。ソフトテニスといえば、アジアの一部での普及という認識が一般的であったが、近年は特に欧州において積極的な普及活動が行われ、東欧を中心に定着しつつある。

日本においては、約60万人の競技人口と700万人前後の愛好者がいるとされており、埼玉県の高校生選手登録数は4388人（H24年度）である。

しかし、一般的にも愛好者の意識の中でもマイナー感が強いことは事実である。原因としては、オリンピック種目ではないこと、日本国内にプロ選手が存在しないこと、1980年代から急速に大衆化した硬式テニスの影響等が考えられる。

2. 埼玉県の現状

埼玉県では、ジュニア年代の選手育成が盛んであり、競技人口も多い。そのため、中学生年代までのカテゴリーでは全国で実績を残している選手が多い。今年度も、女子では全中団体優勝、個人3位、男子では全中ベスト8等の成績を収めている。また、一般では、世界チャンピオンが県内から多数輩出されている。

このように、各年代で活動が活発なことから、テニスコートが県内各地に整備されていることなどから、他県に比べてソフトテニスの普及は進んでいると思われる。

3. 取り組み

- ・映画「かかしとラケット」上映。
- ・大学のソフトテニスサークルの全国大会では、「ソフトテニスをオリンピック種目に」を合言葉に署名活動を行っている。